

## 第5章 抑うつを説明する － 単回帰分析・重回帰分析・ パス解析と標準誤差－

2014.09.20 尾崎幸謙・荘島宏二郎

# 図5-1の分析

## 図5-1 分析の準備

第1章Amos資料  
目的1参照

1. データv06c5Tanaka2006.savをWEBから保存
2. Amosの起動
  - スタートメニューからAmos Graphics
  - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
  - ファイル→データファイル:v06c5Tanaka2006.savを指定
4. Amosファイルの名付けて保存
  - ファイル→名前を付けて保存:v06c5fig5-1.amwとして保存
5. 分析のプロパティ
  - 出力タブで標準化推定値に☑

## 図5-1の分析手順

- 単回帰分析
  - パス図の作成
  - 分析と結果の表示
  - 標準化推定値の表示
  - 適合度指標の表示
  - 決定係数
  - 検定統計量の表示

省略  
第2章図2-2の  
手順を参照

## 図5-1 パス図の作成

これまでの学習を参考に  
上のアイコンを駆使して作成

※初出※  
観測変数の描画

## 図5-1 決定係数

①分析のプロパティ  
の出力タブ

②重相関係数の  
平方に

③したら窓を  
閉じて分析

決定係数と重相関係数の平方は  
同じものの異なる名前

## 図5-1 決定係数の出力 手順1/2

①結果表示  
右側のペダル

②標準化推定値の出力  
下のほう

決定係数の出力

## 図5-1 決定係数の出力 手順2/2

テキスト出力でも  
決定係数を確認できる

メニューから  
推定値→スカラー→重相関係数の平方

重相関係数の平方: (グループ番号 1-モデル番号 1)	推定値
抑うつ	.063

図5-1 検定統計量の出力



メニューから  
推定値→スカラー→係数

	推定値	標準誤差	検定統計量	確率	ラベル
抑うつ<---損害回避	.238	.041	5.872	***	

# 図5-2の分析

図5-2 分析の準備

第1章Amos資料  
目的1参照

1. データv06c5Tanaka2006.savをWEBから保存
  - 前の分析を行ってあればすでにやっている
2. Amosの起動
  - スタートメニューからAmos Graphics
  - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
  - ファイル→データファイル:v06c5Tanaka2006.savを指定
4. Amosファイルを名付けて保存
  - ファイル→名前を付けて保存:v06c5fig5-2.amwとして保存
5. 分析のプロパティ
  - 出力タブで標準化推定値に
  - 出力タブで重相関係数の平方に

図5-2の分析手順

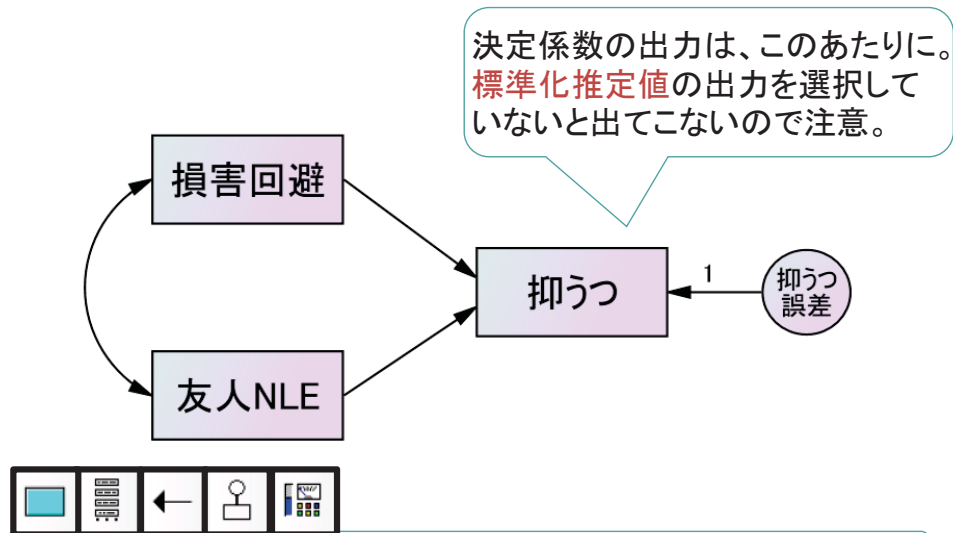
## ●重回帰分析

- パス図の作成
- 分析と結果の表示
- 標準化推定値の表示
- 適合度指標の表示
- 決定係数
- 検定統計量の表示

省略  
第2章図2-2の  
手順を参照

省略  
図5-1の手順  
を参照

## 図5-2 パス図の作成



これまでの学習を参考に上のアイコンを駆使して作成

# 図5-7の分析

## 図5-7 分析の準備

第1章Amos資料  
目的1参照

1. データv06c5Tanaka2006.savをWEBから保存
  - 前の分析を行っていればすでにやっている
2. Amosの起動
  - スタートメニューからAmos Graphics
  - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
  - ファイル→データファイル:v06c5Tanaka2006.savを指定
4. Amosファイルを名付けて保存
  - ファイル→名前を付けて保存:v06c5fig5-7.amwとして保存
5. 分析のプロパティ
  - 出力タブで標準化推定値に☑
  - 出力タブで重相関係数の平方に☑

## 図5-7の分析手順

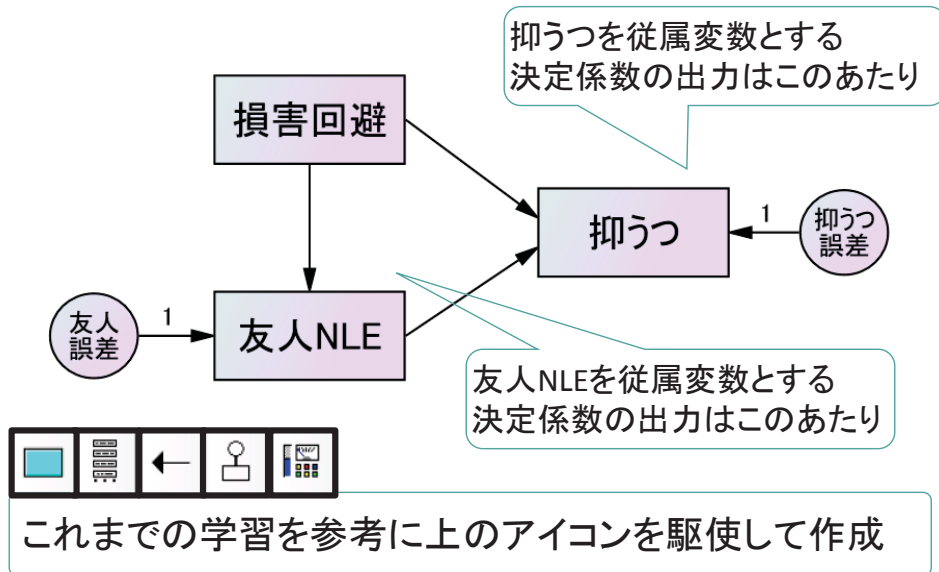
### •パス解析

- パス図の作成
- 分析と結果の表示
- 標準化推定値の表示
- 適合度指標の表示
- 決定係数
- 検定統計量の表示
- 間接効果と直接効果

省略  
第2章図2-2の  
手順を参照

省略  
図5-1の手順  
を参照

## 図5-7 パス図の作成

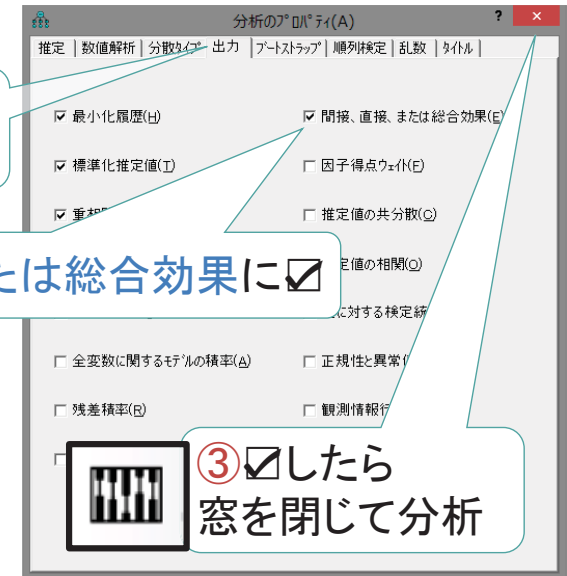


## 図5-7 間接効果と直接効果

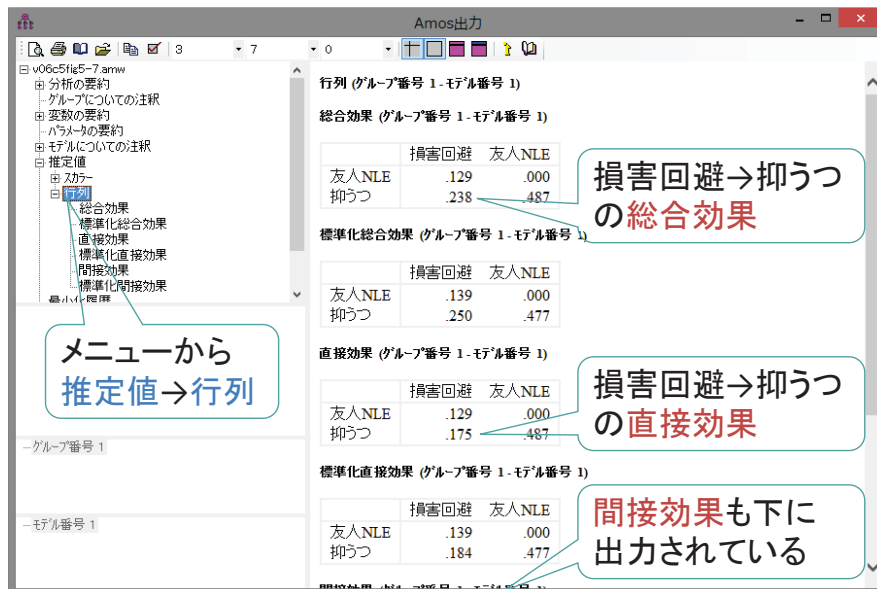
①分析のプロパティ  
の出力タブ

②間接、直接、または総合効果に

③☑したら  
窓を閉じて分析



## 図5-7 間接・直接効果の出力



# 図5-8の分析

## 図5-8 分析の準備

1. データv06c5Tanaka2006.savをWEBから保存
2. Amosの起動
  - スタートメニューからAmos Graphics
  - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
  - ファイル→データファイル:v06c5Tanaka2006.savを指定
4. Amosファイルの名付けて保存
  - ファイル→名前を付けて保存:v06c5fig5-8.amwとして保存
5. 分析のプロパティ
  - 出力タブで標準化推定値に
  - 出力タブで重相関係数の平方に
  - 出力タブで間接、直接、または総合効果に

## 図5-8の分析手順

### •パス解析(その2)

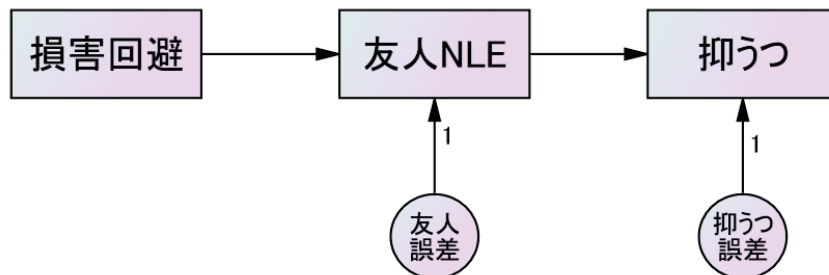
- パス図の作成
- 分析と結果の表示
- 標準化推定値の表示
- 適合度指標の表示
- 決定係数
- 検定統計量の表示
- 間接効果と直接効果

省略  
第2章図2-2の  
手順を参照

省略  
図5-1の手順  
を参照

省略  
図5-7の手順  
を参照

## 図5-8 パス図の作成



これまでの学習を参考に上のアイコンを駆使して作成